

日本エイズ学会主催セミナー

「Fast Track Cities Workshop Japan 2021」メッセージ

公益社団法人 東京都医師会長 尾崎 治 夫

この度は、日本エイズ学会主催セミナー「Fast Track Cities Workshop Japan 2021」が開催されますことに心からお祝い申し上げます。

日本エイズ学会におかれましては、松下修三理事長をはじめ、会員の皆様が日々、学術研究や普及啓発活動に取り組まれ、HIVの予防や治療に多大な貢献をされておりますことに敬意を表します。

さて、2019年のエイズ発生動向を見ますと、HIV感染者・エイズ患者を合わせると1,236件で、全国的にピーク時から減少傾向となっております。なお、全国の報告数の約3割は東京都が占めています。

東京都医師会では、1993年（平成5年）より東京都の委託を受け、HIV検査とエイズ相談を行う東京都新宿東口検査・相談室（旧 東京都南新宿検査・相談室）を運営しています。現在、東京都新宿東口検査・相談室では、土日（祝日等は除く）を含め毎日検査を実施しており、コロナ禍の現在でも事業を継続し、HIVの早期発見・早期治療につなげております。

また、東京都では、6月に「東京都HIV検査・相談月間」、11月から12月にかけて「東京都エイズ予防月間」としてキャンペーンを行い、東京都医師会も普及啓発等に協力しています。

HIV感染症は、近年の医療の進歩により、早期発見・早期治療を行うことで、予後が大幅に改善し、感染前とほとんど変わらない生活を送ることが可能となっております。それに伴い、糖尿病や腎臓病などの慢性疾患の合併症などへの対応が必要となってまいりました。今後は、多職種との連携で、HIV感染者の生活そのものを含めたケアが大事になってくるものと思います。

今回、日本エイズ学会の主催により「Fast Track Cities Workshop Japan 2021」が開催され、コロナを含め、時宜にかなった課題を検討することは、誠に意義深く、今後の研究、交流により、その成果がHIV／エイズ治療の発展に寄与するものと期待しております。

本日のセミナーが会員や参加者・関係団体の皆様にとって実り多きものになることを、また、今後の皆様の益々のご活躍を心より祈念して、私のメッセージとさせていただきます。